

学校教育目標	「健やかに学び、共に生きる」 1 学習意欲と学習力のある生徒の育成をめざして、自ら考え、自ら学ぶ力を育みます。(知) 2 公共心を持った生徒の育成をめざして、お互いを認め合い、思いやる心情を育みます。(徳・公・開) 3 健やかな心と体の生徒の育成をめざして、なにごとにも意欲的に取り組む姿勢を育みます。(徳・体)				
	学校概要	創立 53 周年	学校長 小佐野 和人	副校長 鳥飼 真人	2 学期制
児童生徒数: 678 人		主な関係校: 倉田小学校 豊田小学校 東戸塚小学校 小菅ヶ谷小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	豊田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈問題発見・解決能力〉 〈自分づくりに関する力〉	豊田中学校 倉田小学校 豊田小学校	自ら考え、自ら学び、人やもの・地域と 豊かにかかわり合いながら共に輝く児童・生徒の育成 ○ 教職員の授業交流会や合同研修会、情報交換会を定期的に開催し、ブロック内の小中学校の一貫カリキュラムの推進に努める。 ○ 生徒会活動や部活動を通じた児童生徒の交流を積極的に進め、子どもたちが安心して、期待感をもって中学校に進学できるように努める。

中期取組目標	「すべての教育活動を子どもの成長と将来の幸せのために」を基本理念とした学校づくりを目指します。 ○ 生徒一人ひとりの個性や能力を理解し、その伸長を図ることに努め、誰もが安全に安心して心豊かに生活し、豊田中学校の生徒として誇りをもてるように学校づくりを進めます。 ○ 生徒が人として豊かに、そして健やかに学び育つことができるように、教育活動の展開や教育環境づくりを大切にして学校づくりを進めます。 ○ 生徒や保護者、地域の方々の要請や信頼に誠実に応える姿勢を大切にし、加えて家庭や地域とのよりよい連携や協働を生かして学校づくりを進めます。 ○ 教職員一人ひとりが自らの特性や能力を生かすとともに、相互の連携や協力により教育力を発揮する方向性を揃え、チームとして指導・支援することを大切にして学校づくりを進めます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①「主体的・対話的で深い学び」の授業実践を中心に、授業改善と評価活動の改善に取り組む。 ②「主体的に学習に取り組む態度」の評価活動についての研修を生かして授業改善に取り組む。 ③生徒による授業評価を生かして、自らの授業改善に取り組む。
担当 教育課程・教科主任	
徳 人権教育	①人権講演会や人権作文への取組を通じて、人権教育の推進を図る。 ②教育活動全体で道徳教育を推進し、生徒の人権意識を高める。 ③朝会や学校だよりで人権や人間関係についての大切さを伝え、生徒の人権意識の向上に努める。
担当 人権教育・道徳	
体 健康教育	①健康や運動、食事の大切さについて理解を深めることができるように計画的に健康教育・食育を進める。 ②保健体育科の授業、体育的行事、部活動等を通して、自主的に安全に運動に取り組む姿勢を育てる。 ③学校保健委員会の取組を生かして全校で健康教育の推進を図る。
担当 保健・教科・生徒会	
公開 ESDの推進	①教科の学習内容とSDGs17の目標との関連を重視した指導を進め、学ぶことの意義を深める。 ②総合的な学習において、SDGsに関する理解を深め、生徒会活動や行事等様々な学習活動に生かす。 ③SDGsの視点を生かして、様々な社会課題の解決について考える機会や実践の場面を設定する。
担当 教科・総合	
いじめへの対応	①職員研修や常日頃の観察・情報共有を生かして職員の感度を高め、積極的にいじめ認知につなげる。 ②定期的な教育相談や生活アンケート等を生かして、生徒の困り感に寄り添い丁寧な対応を進める。 ③いじめ防止対策委員会と生徒指導部が連携し、組織的に課題の解決を図るようにする。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	①ミドルリーダーを中心に組織を活性化させ、OJTによる人材育成を図る。 ②メンター研修を組織的・計画的に進め、経験の浅い職員の育成を進める。 ③働き方改革の視点から、部活動休養日、持続可能な部活動の推進について検討を進める。
担当 主幹教諭・研修・部活推進	
生徒指導	①生徒理解に関する力量を高め、生徒に親身にあつく寄り添うことを常日頃より大切にする。 ②生徒指導研修やYPアセスメントの活用、常日頃の情報共有をもとに、組織的に指導・支援を進める。 ③「積極的な生徒指導」を進めるとともに、具体的な事案や課題に組織的に取り組み解決を図る。
担当 生徒指導・学年	
特別支援教育	①校内ハートルームを活用して、不登校傾向生徒の居場所づくりに学校体制で取り組む。 ②特別な支援を要する生徒について特別支援教育担当を中心に組織的に支援を進める。 ③コーディネーターを中心に関係機関と積極的な連携を図り、家庭との共通理解のもと効果的に支援を進める。
担当 特別支援・個別支援・学年	
安全管理・教育環境整備	①管理職、事務職員、技術員とが連携を図り、施設の安全管理・教育環境の整備に努める。 ②地域防災拠点委員会との連携を図るとともに、避難訓練、安全点検、職員研修を計画的に実施する。 ③生徒への指導については、学級指導や生徒会指導、部活動指導等、必要に応じて進める。
担当 保健安全・事務職員・用務員	
地域学校協働活動	①協働活動本部「さくらんぼ」を中心に生徒の学習環境の整備、生徒ボランティア活動の充実を図る。 ②学校運営協議会の組織を生かして教育活動への協力体制を整え、教育環境の充実に努める。 ③連携・協力体制について見直しを図る。
担当 総務・生徒指導専任	